

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 仙台局

2025年度 放送番組審議会 議事録

【日時】2026年3月27日（金）15時～16時30分

【場所】株式会社ジェイコム埼玉・東日本 仙台局

<放送番組審議会委員>

ご出席（五十音順）

佐々木裕子様	高山秀樹様（審議会会長）
早坂美代子様	星正己様
松原誠様	渡部洋平様

ご欠席（五十音順）

杉田剛様

<事業者：株式会社ジェイコム埼玉・東日本>

仙台局 局長	清水伸一
仙台局 地域プロデューサー	岡谷拓矢
仙台局 地域プロデューサー	細谷真澄
仙台局 地域プロデューサー	結城麻友子

(制作担当)

JCOM株式会社 J:COMプロダクション本部 映像制作部
埼玉・東日本制作グループ 仙台チーム拠点長 東照審

1. 開会（事務局）

- ・委員の紹介
- ・事業者紹介

2. J:COMチャンネルにかかわる取り組み報告（清水）

- ・(株)ジェイコム埼玉・東日本 仙台局の事業について

3. 2025年度 J:COMチャンネルの報告(東)

- ・編成方針の説明(地域情報/地域イベント/安心・安全)
- ・地域情報番組「ジモトトピックス」
- ・安心安全情報「こちらJ:COM 安心安全課」
- ・地域スポーツ応援番組「杜モリ☆スポーツ」
- ・ほっこりするグルメ番組「ふくあじ」
- ・東北をめぐる散策番組「又吉・せきしろのなにもしない散歩」
- ・地域特番「高校野球選手権 宮城大会」
- ・地域特番「仙台七夕花火 生中継」
- ・夏まつり 仙台すずめ踊り ダイジェスト
- ・なとり夏まつり 花火生中継
- ・東日本大震災 特別番組「あの日から15年 ～未来を見つめた それぞれの3.11～」生放送
=ダイジェストVTR視聴=

4. 番組審議(対象番組:ジモトトピックス/こちらJ:COM 安心安全課/震災特番)

(ご意見/星委員)

- ・開票を生中継するなど地域密着の番組づくりが珍しい。これからも誇大広告はせず、ローカルな番組であってほしい。
- ・災害情報が地域ごとに分かりやすく放送されており良い。
- ・高校野球や「ふくあじ」など、「ど・ろーかる」な番組を継続してほしい。
- ・現状のスタンスで十分だと思う。

⇒(回答/東)

- ・「ど・ろーかる」は地元密着の方針を一貫して継続する。地域メディアとしての役割を忘れれば信頼を失いかねないという危機感を持ちながら、引き続き地域に根差した取材を行いたい。
- ・可能な限り地域の現場へ出向き、JCOM がしっかりと取材をしているというアピールも大切。地域からの取材依頼があれば積極的に対応したい。

⇒(回答/清水)

- ・「島田飴まつり」の映像ではカメラアングルに工夫を凝らし、通常の定点撮影では得られない新鮮な画作りを目指した。これはNHKの手法を参考にしたもので、評価できる成果だと思う。都会的でない地元らしい情報を引き続き届けていきたい。

⇒(回答/岡谷)

- ・昨年、大和町が町政70周年を迎えた際には、周年事業の取材を可能な限り行った。今年も「まほろばホール」での催し物やイベントなど、取材を依頼したいものがあれば教えてほしい。

(ご意見／星委員)

- ・大和町の年間スケジュールを提供するので、取材希望があれば連絡してほしい。

(ご意見／早坂委員)

- ・震災から 15 年という節目の年に、復興を思い出すような映像を見て感慨深かった。
- ・伝統的な文化やお祭りに触れることで、視聴者が初めて知ることも多い。今後もぜひ続けてほしい。
- ・中山間地では移住者やスポーツを引退した方々が第一産業に取り組んでおり、そのような新しい挑戦にもスポットをあててほしい。エリアを超えて活躍する人々の情報発信を期待している。

⇒ (回答／東)

- ・放送エリア内では移住施策を進める行政も多く、ニュースでも取り上げている。そうした各行政の動きは引き続き伝えていきたい。
- ・伝統的なお祭りの取材は積極的に取り上げている一方で、まだまだ地域の方たちの新しい挑戦に関する取り組みについての取材はまだまだ不足している。今後は行政とも連携を強化しつつ、自分たちでも情報を吸い上げ、取材範囲を広げたい。

(ご意見／松原委員)

- ・J:COM の魅力は地域密着型のこだわりある番組づくりにある。
- ・昨年、富谷市で初めて開催された「発酵サミット」を取材したことで、視聴者へ地域活動が広く伝わった。行政担当者や参加者に焦点を当てる手法も成功しており、引き続き人の魅力を伝える取り組みを続けてほしい。
- ・震災特番は、震災を知らない若い世代に当時の状況や思いを伝えるためにも重要な役割を果たしている。
- ・富谷市は今年で市制施行 10 周年を迎える。10 月 10 日の記念式典や関連イベント、さらには 5 月 1 日オープン予定の複合施設「図書館・スイーツステーション・児童遊戯施設」の紹介をお願いしたい。

⇒ (回答／東)

- ・人に焦点を当てるといふ番組制作方針には特に力を入れている。視聴者が身近に感じられるような取材姿勢を続けていきたい。
- ・震災については、当時を知らない人たちも増えてきている。メディアの使命として若い世代に向けても、毎年特集を組む方針だ。
- ・行政が進める楽しいイベントには常に注目しているので、取材依頼をお待ちしている。

⇒ (回答／清水)

- ・震災の記憶を風化させず、未来へ繋げる活動を進めたい。震災を記録した映像や特番制作はケーブルテレビ全体の取り組みとしても重要だと認識している。引き続き J:COM と連盟内で対応していく。

(ご意見／佐々木委員)

- ・過去の制作物と比べ進化や努力を感じた。
 - ・仙台の魅力を親世代にも知ってもらうために「ジモトトピックス」を活用しており、視聴層の反応が世代によって異なることを実感している。若い世代に向けた番組作りには引き続き注力してほしい。
- また、視聴者に合わせた内容や構成の工夫が必要だと思う。

⇒ (回答／東)

- ・現在の制作メンバーは40代以上が多く、今、若い世代が注目する動画やSNSでの視聴スタイルに合わせた手法を学んでいる。しかし、高齢者層の視聴者も大切に考えており、双方が楽しめる内容を模索していきたい。

(ご意見／渡部委員)

- ・視聴率や再生回数を指標として活用し、限られたリソースを効果的に活用するのが望ましい。
- ・J:COMならではの地域密着型の視点で、アマチュアスポーツや町内会の活動など、地域の新しい取り組みを積極的に取材してほしい。

⇒ (回答／東)

- ・町内会活動やアマチュアスポーツ大会の取材も重要視し、小さなイベントも積極的に取り上げたい。
- また、そうした地域のイベントや歴史として映像を残すことはケーブルテレビの一つの使命だと感じている。アーカイブ作業についても力を入れている。

(ご意見／高山委員)

- ・出演した人が自ら発信することで、J:COMの認知拡大に繋がる。視聴者との接点をさらに増やしてほしい。
- ・SNSを活用しつつも、契約者を増やすためにはバランスが必要だ。特にアーカイブやオンデマンドを活用し、「観たい」と思わせる番組作りが重要だ。

⇒ (回答／東)

- ・J:COMは地域密着型の活動を続けながら、地域に根差した存在であることを、番組を通じても発信している。サービスを受けるなら「J:COMにしよう」と思われるような価値提供を目指し、スタッフ一同が自覚を持って行動したい。

3. 閉会 (岡谷)

皆さまからの貴重なご意見ありがとうございました。

多くの方にご視聴いただけるよう、引き続き番組作りに尽力して参ります。

以上